PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-068654

(43)Date of publication of application: 08.03.1990

(51)Int.CI.

G06F 15/20 G06F 3/14

(21)Application number: 63-221182

(71)Applicant: FUJI XEROX CO LTD

(22)Date of filing:

02.09.1988

(72)Inventor: KIMURA KIYOMI

(54) DOCUMENT PROCESSING DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To efficiently perform the whole of document processing work by providing a means, which clarifies the attribute of an object at the time of displaying an icon, to save a user trouble to confirm the attribute of the object.

CONSTITUTION: The attribute of the object is clarified at the time of displaying the icon. Consequently, it is always monitored whether the attribute is changed or not, and an attribute state file area is rewritten when the attribute is changed, and the attribute state file area is checked to display the attribute also when the icon is displayed. Thus, the user easily detects the state of a document, for example, the editing state of the document or termination of editing in the icon state.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

@公開特許公報(A) 平2-68654

®Int. CI. ⁵ G 06 F

٠, ,٠,٠

庁内整理番号 識別配号

@公開 平成2年(1990)3月8日

15/20 3/14

7165-5B 7341-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

文書処理装置 会発明の名称

> 頤 昭63-221182 ②特

頭 昭63(1988)9月2日 @出

神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロツクス株式会社 喜 代 竣 渚

海老名事業所内

富士ゼロンクス株式会 頲 创出

東京都港区赤坂3丁目3番5号

壮

弁理士 管井 英雄 外4名 60代 理

1. 短明の名称

文春処理器質 2. 特許調求の範囲

(1)文書字のオブジェクトがアイコン表示され る文書処理装置において、 アイコン表示にオブジ

ェクトの属性を明示する手段を設けたことを特徴

とする文書処理類属。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、文書等のオブジェクトをアイコン教 示する文書処理装置に関するものである。

「砂楽の特徴」

従来、ワークステーションにおいて、ユーザと マシンとの間の意志伝達を容易にするための手段 として、例えば情報処理学会発行の文献「情報処 選」 Yot.25,版2,p103~110の「ワークステーショ ンのユーザインターフェースの構成技術」と題し て解説されているように、 ユーザが利用できるり ソースをオブクェクトとしてとらえ、 これらをア

オコンで投示することにより、 ユーザがこれらの 表示されたアイコンの中から利用する対象を選択 し、次に操作の内容を投示する形式でデータ処理 を迎める方式が住目されている。

また、特別昭62-194532号公製のように、アイコ ンの関係。名称、表示位置をユーザ毎に任意に改 定できるようにすることも提案されている。

[発明が解決しようとする事項]

しかしながら、 従来のものにおいては、 アイコ ン炎示状態で直接得られるオブジェクトの情報は、 文書、データペース等のオブジェクトの種類と名 我だけであった。 このため、 塩数の文書がアイコ ン表示されている状態で、 超塩を燃した文書のみ をドロワーに各枘する場合など、 延集を施したか どうかを知るために、ユーザがプロパティ子で狙 集日時をチェックしなければならないという状況 であった.

本免明は、上記の課題を解決するものであって、 アイコン表示にオブジェクトの其性を明示するよ うにした文書処理装置を提供することを目的とす

特閉平2-68654 (2)

るものである。

[禁避を解決するための手段]

上記の目的を達成するために、 本発明の文書処理変配は、アイコン表示にオブジェクトの属性を明示することを特徴とする。

C作用]

本売明によれば、 属性が変化したか否かが常時 監視されており、 属性が変化した場合には属性状 態ファイル領域が書き換えられ、 アイコンを表示 する場合には属性状態ファイル領域がチェックさ れて属性も表示されるので、 オペレータは例えば、 アイコン状態において当該文書が超無途中なのか。 調集が終了したのかぞの文書の状態を容易に知る ことができるものである。

[寒糕粥]

•

以下、図面を参照しつつ実施例を説明する。

第1図は本発明に係る文書処理装置の1次施例の構成を示す図であり、図中、1はCPU、2は 主記憶装置、3はポインティングデバイスとして のマクス、4はキーボード、5は表示装置、8は

を拡張しようとしてファイルから呼び出そうとし たとすると、CPU1は当該コマンドを検知する と共に、アイコン図板アータファイル領域11か ら文書アイコンの優精を呼び出し、 更に、 属性情 根ファイル領域10から「文書1」という名称を 呼び出して、例えば第3図aに分すようなアイコ ンの初期及示を表示装置5に電量表示する(ステ ップS2)。 この表示がなされている状態でマウ ス3により「文音1」が選択されて当該文音が開 かれるとき、CPU1は、アイコンに対応するオ プジェクトの属性の初期値を属性規程ファイル類 城10に書き込む。 これがステップS3の処理で ある。 その後、 文書に対して何等かの処理が施さ れている間中、CPU1は、ステップS4七上び ステップS5の判断を疑り返し行っている。 オペ レータが「文書1」に対して追加、削除等の模案 処理を開始すると、CPUIはステップS5で文 音の異性が変化したと判断して異性情報ファイル 領域10に、「文書1」の属性が変化したとして、 文章塩集が行われている旨の情報を書き込む。 従 プリンク、 7 は補助配位装置を示す。 そして、 植助配位装置 7 は、 磁々のアイコン表示に関するプログラム格納領域 8、 ユーザのデータファイル領域 8、 ワークステーションにおいて扱うオブジェクトの顕性機能をファイルする耳性情報ファイル領域 1 0、 オブジェクトを表すアイコンの関係の基本形を協納したアイコン関係データファイル領域 1 1、 アイコンの変化のうち変化した部分の関係のみを格納したアイコン関係データファイル領域 1 2 で構成されている

オブジェクト、およびその属性としては様々考えられるが、以下、オブジェクトとして文書を例にとり、また属性の変化として「担果が適された」 ことを例にとって説明する。

当該処理のフローチャートの例を第2節に、 そのときのアイコンの表示例を第3図に示す。

処理が開始されると、ステップS1でアイコン の初類表示のコマンドが入力されるまで待機する。 いま、オペレータが「文券1」という名称の文書

オペレータがキーボード4またはマウス3により所定の操作を行うことにより組集処理を終了すると、第2回のステップS4で操作終了がYesと判断されるから処理は終了となるが、この際、

4,* 3.5,•

特開平 2-68654 (3)

CPU1は「文書1」の属性として複級が終了した旨を属性情報ファイル領域10に書き込む。ここでオペレータが「文書1」をアイコン状態にすると、CPU1は属性状態ファイル領域10をチェックして該アイコンに対しては、例えば第3図 cに示すような表示を行い、「文書1」が超級が終了した文書であることを表示する。

塩類処理が終了し、 ハードコピーとして出力したい場合には、 ブリンク 6 により出力することができる。

第3図 d は「文書1」をローカルにコピーした 場合のアイコンの表示例を示すものである。 オペ レータによって「文書1」のローカルコピーが指示されるとCPU1は、 属性情報ファイル領域1 0に格納されている「文書1」の属性をローカル コピーに書き換える。この状態でアイコン状態に なされるとCPU1は属性情報ファイル領域10 をチェックし、ローカルコピーであることを認識 して第3図 d に示すような表示が行われる。 ここ でオペレータが文書の名称を「文書1」から「文

ル領域10からディスク国の属性を読み出し、更に第2のアイコン図柄データファイル領域12から、文書、フェルダーまたはドロワーに対するアイコンの図例を読み出して合成表示すればよいことは明かであるう。

以上のように本発明においてはアイコン状態でオブジェクトの気性を知ることができるが、 どのような異性を表示するか、 表示形態はどのような バターンにするかを予めオペレータが任意に設定 できるようにするのが望ましい。 そのためには、 逃当なブログラムで予めオペレータが第5 図に示すような画面でアイコン表示のプロバティを設定できるようにするのがよい。

[発明の効果]

以上の説明から明らかなように、本発明によれば、アイコン状態でオブジェクトの属性が表示されるため、ユーザがオブジェクトの属性を確認する手間が省かれて、文書処理作業全体が効率化される。また、システムがユーザに住取を与えることもできるようになる。

を2」に変更すると、コピーであるという属性が クリアされ、第3関eに示すように初期表示が行 われる。なお、アイコンを初期表示状態に戻すに は、オペレータが研定の操作で属性クリアコマン ドを指定することによっても行うことができる。

以上のように、本発明においては、アイコンが 表示されている状態で文質が関係されつつあるの か、関係が終了したものであるのかを知ることが できるものである。

以上は、文書の類集に関して説明したが、その他の属性に関しても同様であり、オブジェクトの 原性としてファイルサイズをとった例を第4回に 示す。

第4図 a は「メモ」という名称の文容のファイルサイズが24 ディスク頁であることを示し、 第4図 b は「特許」というフォルダーのファイルサイズが584 ディスク頁であることを示し、 第4図 c は「K」という名称のドロワーが5000ディスク頁中4816ディスク頁使用されていることを示している。 このような表示を行うには、 英性状態ファイ

4. 図面の原単な説明

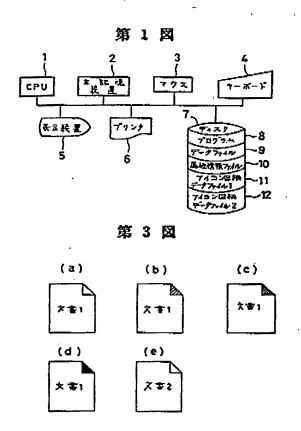
第1図は本別明に係る文書処理装置の1実施例の構成を示す数、第2図は処理のフローチャートを示す図、第3図は娯楽に係る無性の表示の例を示す図、第4図はオブジェクトのサイズを示すアイコン表示の例を示す図、第5図はアイコンに表示するオブジェクトの属性と表示形成を設定するためのプロバティンートの例を示す図である。

1 … C P U、 2 … 主記憶袋屋、 3 … マウス、 4 … キーボード、 5 … 汲示装置、 8 … プリンタ、 7 … 補助記憶袋屋。

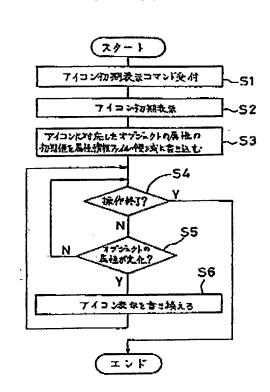
出 願 人 富士ゼロックス株式会社 代理人 弁理士 智 井 英 雄 (外4名)

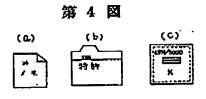
第 2 図

特別平2-68654 (4)



.....





第 5 図

